



ご卒業おめでとうございます

理事長 船本幸二



皆さま方は、当大阪府北部コミュニティカレッジの、第一回目の記念すべき卒業生であります。

人を大切に、地域密着型のシニアの特徴ある二年制の大学校として開講いたしました。北摂の五つの地域に分かれての開講であったため、皆さま方には大変ご不便をお掛けいたしました。しかしながら、皆さま方のご協力もあり、また大阪府はじめ各自治体、ならびに同窓会など関係各位のご支援ご協力により、お陰さ

まで本日初めての卒業式を迎えることが出来ましたことに、衷心よりお礼申し上げます。

今回卒業されるのは、第1期生6教室の248名と、1年制野菜づくりを楽しむ科の12名、計260名の方々です。本当におめでとうございます。なお、この卒業される方の中で、2年間1日も休まず出席された方が14名もいらっしゃいます。この方々の健康に留意され努力しての勉学に、心から敬意を表したいと存じます。

また、最初に卒業される皆さま方は、本コミュニティカレッジの基盤を築くためにご協力を頂きました方々です。どうかこのことを誇りに思って頂き、当カレッジで培われた英知をもとに、各方面でのご活躍をお祈り申し上げます。

平成27年3月4日

ご卒業おめでとう！ ONCC会員になりませんか！

ONCCでは、ONCCの活動に賛同頂ける皆さんの支援を待っております。

会費：年間3,000円

会費は、より多くの受講生の皆さんにより良い受講環境を確保するために使用致します。

会員の皆さんには、

- ① 講座、公開講座等タイイベントを優先的に受講できます。
- ② ONCCの運営活動に興味のある方の意見や運営協力を期待しています。連絡先：茨木連絡事務所 事務局



健康づくりと福祉を学ぶ科 1期生 茨木教室

仲間の意見をまとめて五七五調で表現をしました。(多くの意見を中心に)

☆学び編 「学ぶこと いくつになっても ころころ浮く」

「2年間 ONCCに 育てられ」

「一回り 大きくなった この2年」

「思いやり 増えたと感じる 自分にも」

☆感謝編 「大深謝 長尾講座に 全員が」

「このクラス 肝腎要は 英と美枝」

☆仲間編 「2年前 見知らぬ人が 友となり」

「性別も 年令も問わない 仲間たち」

☆講義編 「満ち足りた 2年学びの プログラム」

「2年目が 初年度価値を 倍増し」

「早かった 充実講座の 証しだよ」

☆今後編 「恩返し 地域交流 へのデビュー」

「どう使う 取った資格に 惑わされ」「健康も 福祉守るも まずおのれ」

[文：水本信之]



野菜づくりを楽しむ科 1期生 豊能教室



持ちきれないほど沢山の野菜を持ち帰ったのが、つい昨日のこのようにおもわれます。

短い期間でありましたが種や苗の品種、選定、病害虫の防除、肥料の種類やそのやり方、土作り、耕うん畝立て等野菜作りの基礎を学ぶことが出来ました。

秋澤先生のご指導は、理論と実践に裏打ちされた大変分かりやすいものでした。先生のお教えの中で

特に印象に残っているのは、「野菜作りは土づくり、作物を毎日目を見て、葉の色、実の付き方、病害虫の状況、土の乾き具合、等確認することが大事である」ということです。農業の基本、農業に携わる人々の姿勢、農業の奥深さを垣間見る思いがしました。

このようなアカデミックな授業に加え、私には、我々で作った野菜を、地元の婦人会の協力を得て作った昼食のおいしかったこと、課外学習の川西ダリア園の見学、妙見山でのバーベキューパーティー、高台寺の耐寒ハイキング、クラスの飲み会、タキイ農場の見学会、すべてが楽しく有意義な一日でした。

二年間一緒に学んだ受講生の皆様、秋澤先生、スタッフの下田さん、岡田さん、土井さんに心から感謝申し上げます。 [文：斎藤隆二]



自然とものづくりを愉しむ科 1期生 豊中教室

- ① 松井由美子先生の指導で受講者は自分の持つ制作意欲を喚起、能力を最大限発揮させて作り、完成させて喜びと満足感に浸る。自己実現の欲求を満たせたのだ。
- ② 受講者の中で制作能力の劣る者もいる。先生や仲間は助け、難しい作業は代わって行ったりする。その為、その者の完成品は劣ることはない。当人は有難いと感謝している。
- ③ 制作では、模範作品に出来るだけ近づけようと真似る者、自分の独創性を出そうとする者、それぞれあるが作品に変化が観られて面白い。
- ④ 作業は頭脳を働かせ、手先を巧みに動かすので、作る楽しみと共に老化防止に役立つ。
- ⑤ 教務は企画・管理と共に受講者の面倒を見るので、受講効果に与える影響は大きい。
- ⑥ 仲間同士で醸し出す穏やかな交流は癒される。馴染み、心の安定といった情緒面で意味深い。それが授業中では助け合い、授業外では勉強や懇親の各種会合を催し、多くが参加して意義あるものとしている。



[文：坂本誠之]

歴史・文学を彩る“人々と心”を学ぶ科 1期生 高槻教室



歴史と文学のコラボレーション、講座のスタートはよこみちの話から始まります。両先生とも受講生をひきつけて飽きさせない話術は“お見事”という以外言葉がありません。一口メモも“楽しい・面白い”が大半で、充実した講座でした。

受講生全員が集う、現地探訪、校外学習は、知識向上は言うまでもなく、意外なキッカケで仲間の輪が広がっていく一つの要因であったと言えます。

又、班活動として、見学会や学習発表会の作品作りに向かっての、現地調査や資料づくりを通じて、班の連帯感の高まりを感じました。

2年間共に過ごせた、素晴らしい仲間と素晴らしい先生に感謝申し上げます。

[文：前田敏雄]



ご卒業おめでとうございます！

卒業後もONCCのホームページで繋がりませんか？

ONCCのホームページでは、年度講座や公開講座の情報がいっぱいです。皆さんの教室風景や同窓会のHPのリンクも大歓迎です。HPの改善についての提案もお待ちしています。

問い合わせ先：茨木市別院町4-10 Tel: 072-646-9422

歴史・文学を彩る“人々と心”を学ぶ科 1期生 茨木教室

ONCC 1期生・2年をやがて卒業する今、新たな感慨が生まれてきた。2年前まで懸命に働き退職リタイア、人との関わりを持たねばが、入学動機であった。

入学して感じた事は、この歳になれば、人其々に、価値観も定まり長い歴史を持っているのだと実感した。視点の違いはあれど、ONCC授業においての「一会」が、このあとの生涯の心の豊かさに繋がるものと確信した。また、この歳になれば楽しい人と、どんどん付き合いをすればよい。人間は没するまで生涯学習と、母はよく言った。このことを念頭に黄昏れることなく自分らしく「老いの才覚」を発揮したい今日この頃である。

最後に第1期生として卒業にあたり、さらにONCC発展の歴史が刻まれたことに感謝するとともに、拍手エールを送りたい。

〔文：矢野正美〕



キャンパスライフ（美術）科 1期生 吹田教室

ONCCにはいろいろな講座があります。私は大胆にも、よし！絵を勉強しようと決心しました。しかし中学校以来ですから非常に不安です。事前説明会があるということで早速参加しました。そこにおられたのが三木先生で「初心者でも絶対大丈夫、責任を持って指導します」との心強いお言葉を頂き入学を決心しました。

初日はオリエンテーションでしたが、その後座学で、遠近法等、絵を描く基本を学ぶことから始まり、一年目は、鉛筆デッサンや、色の3原色の講義を聞き、油彩へと進みました。最初に学んだ講義が、以後の学習全てに関連づけられています。絵を完成させることは苦しみも多いよと言われましたが、全くそのとおりで毎回毎回、四苦八苦しておりますが、完成した時の喜びは、格段の喜びがあります。

2年目の中盤になりますと、明らかに目に見えて上達しています。仲間のなかには、市展の賞をもらうものまで数名でできました。

もうすぐ卒業で、各人いろんな方向へ進めますが、是非絵を続けていただいて、教室や展覧会でお会いしたいと思っております。

〔文：野呂隆三〕



健康づくりと福祉を学ぶ科 2期生 豊中教室

“これからの地域社会を支える一員になりたい”
そんな目標を持って集まった仲間たち、楽しく支え合うクラスが出来ました。明るい笑い声が絶えません（もちろん、おしゃべりも）。アッという間に過ぎた1年でした。

テーマからは福祉のイメージが強いですが、“からだも、こころも健康であってこそ”ということを念頭に、健・福バランスよく学んでいます。

「ふれあい交流祭」は、準備の共同作業で仲間意識が高まったことや、他の学科の学習内容も垣間見ることが出来たことなど、とても有意義なものでした。

班ごとにテーマを決めて研究する「年間活動」も無事に終え、その成果を発表する段階になりました。各班とも、発表会に向けての準備に余念がありません。

4月からは2年目に入り、より実践的なカリキュラムになる模様ですが、ますます意欲をもって臨みたいと思います。

〔文：大谷信夫〕



野菜づくりを楽しむ科 2期生 豊能教室



4月から「野菜づくりを楽しむ科」2期生の野菜づくりが、開発先生のご指導の下で始まり、1年が経とうとしています。

1学期は夏野菜のトマト、キュウリ、ナス等の栽培に取り組み、土づくり・畝作り・作付けから収穫までを学びました。又、除草と害虫・鳥害防止対策も学びました。毎週の農作業で大変な事もありましたが、野菜が日々成長して育つことに感動し楽しむ事ができました。

2学期はダイコン、ハクサイ、カブ等の栽培に取り組み、沢山収穫する事ができましたが、里山地区の為、イノシシ・鹿が出没し作物に大変な被害があり驚きました。

11月のふれあい交流祭実施に向け、クラス全員で展示物を準備し参加、他科の人達と交流もでき有意義でした。

地域交流では5月に豊能教室の地元吉川の歴史・現況を学び、10月は地元農家の見学、12月には収穫した秋冬野菜を使った料理教室を「なでしこ会(地元婦人会)」と一緒にいき、交流を深める事ができました。

最後に、クラスの仲間と楽しく、野菜づくりを学ぶ事ができ充実した1年でした。

〔文：吉原修二〕



自然とものづくりを愉しむ科 2期生 茨木教室

月日が経つのは齢を取るほどに早く感じるのは、人々の共通ではないかと思うが、当カレッジの2期生もはや一年が経過してしまった。文字通り「愉しむ」術を勉強しようと志した人々の集まりである。そして講師の指導や自然に触れる物理的な愉しみ以外に、新しい友人が出来て心の愉しみも培われたと思う。

2学期になり木工が始まる。これぞ自然のふれあいの場、良好なロケーションとは言い難いこの地「里山センター」ネーミングもふさわしい。バスを降車するといきなり、短い距離ではあるが心臓破りの坂道が待ちうける。しかし車も少ない綺麗な空気と、目前に見える棚田と裏山がとても新鮮、ブラリと訪れる



機会はない。高校の分校であったここ、いつの頃から若い学生が、毎日通っていたのであろう姿をしのびながら中に入ると、そこは工業学校の実習室のよう、木工機械、工具、それは道具と呼ぶ方が相応しい、が整っている。一年を通して、ものづくり以外の講義、学習もカリキュラムに組まれているが、ものづくりの醍醐味はこんなところにもある。

〔文：稲垣泰久〕



歴史・文学を彩る“人々と心”を学ぶ科 2期生 吹田教室

受講することはあってもお世話をする立場になったのは初めてであり、スタート時は戸惑いが多く業務の範囲が良く理解できない状態であったと思います。受講生はやはり講義を聴くのが目的で、講義外の活動については批判的であり、自立心の高い方が多く、コミュニケーションという雰囲気になじめない感覚があったと思います。しかしふれあい交流祭などを通じての共同作業や、校外学習での自主的な活動が行われると、連帯意識も強くなり、雰囲気が変わっていくことが実感されました。

午後の出席率はテーマによって変わることが実感されており、5班の編制になっていますが、班の個性といったものも出てきているようで、今後の校外学習のプランやルーム講座のテーマ選択は、班内の議論を踏まえ教務と班長とで十分な検討を行い、参加率の向上を計る必要があると感じています。

〔文：田村之男〕



歴史・文学を彩る“人々と心”を学ぶ科 2期生 茨木教室



若井・裏両先生はユーモアたっぷりの退屈しない楽しい授業で、充実した1年を過ごす事が出来ました。少し難しいと感じるところもありましたが、少しずつ解るようになり、2年目も引き続き期待と興味を持って勉強していきたいと思います。

現地探訪ツアーや校外学習も良い思い出となり、仲間作りも様々なイベントを通じ十分に打ち解けることができ、楽しく過ごす事が出来ました。

唯、大学との提携講座は、参加者が減少していったのは残念です。もう少しテーマと日時を考慮すべきではないでしょうか。

又、ルーム講座、クラスミーティングはもっと意味ある時間にすべくクラス全員で考え検討し、2年目は外出も含め色々と計画を立て、クラス全体の親交を深める事に注力し、さらに楽しい有意義な1年になる様、努めたいと思います。 [文：石上雅明]

キャンパスライフ（美術）科「水彩」 2期生 高槻教室

何もわからないまま飛び込んだクラス教務の仕事、学科主任の金子さんや ONCC 役員の皆様の励ましとアドバイスで何とか1年が過ぎたというのが実感です。クラス教務2人の業務調整、先生、受講生、ビルオーナー、教務との間も大過なく進められたと思います。また、受講生同志も毎日に和気藹々の雰囲気になってきました。

教室は、受講生の協力で始業30分前に来て、フロアーシートの敷き詰めとテープ止め作業を、当番制でやってきましたが、45名が絵を描く場所としては窮屈過ぎ、皆で知恵を絞り不満を抱えながらも、先生の熱意ある指導のお蔭で1年間頑張ってきました。次期受講生、教室継続のために解決すべき課題です。 [文：鈴木敏正・浦上富紀子]



公開講座受講生募集のお知らせ



公開講座	教室	定員
講座1 遺跡から学ぶ古代人の知恵	茨木市 男女共生センター他	40名
講座2 大阪の歴史と文化の交差点	豊中市 関西アーバン銀行(豊中)	50名

締め切り：4月15日

期間：講座1 4月30日～1月14日、講座2 5月7日～2月4日

実施日：木曜日実施で、両講座日程が重ならない様に設定されています

費用：各講座 13,000円、両講座受講の場合 23,000円

問い合わせ先：ONCC連絡事務所 072-646-9422

第一回 ONCCふれあい交流祭

ふれあい交流祭実行委員長
山添 正太郎

2014年11月12日、大阪府北部コミュニティカレッジ（ONCC）の第一回ふれあい交流祭が開催されました。ONCCが開校して初めての交流会で慌ただしく実行委員会が発足し、ネーミングも、地域とのふれあい、仲間との絆・ふれあいを第一に「ふれあい交流祭」と命名しました。

1・2期生5学科12教室&ハイキング・写真倶楽部が、この日の為に学習結果を結集して部屋いっぱいに展示して頂きました。熱心な質問とそれに対する説明は初めてとは思えないくらい、各会場は熱気を帯びていました。

又、パフォーマンス部門も素人とは思えないくらいの名人芸も披露して頂き、大変良かったと称賛を頂きました。

今回模擬店をONCC事業部が主体となってい、受講生からの応援もあって、すべて完売という嬉しい結果となりました。

これも受講生の皆様が、やるからには成功させようという思いがあらわれた結果だと思います。仲間とやり遂げた結果はきっと記憶に残り、それは後々迄財産になると思います。お世話頂いた関係各位の方々には、厚く御礼申し上げます。



ONCC豊中事務所OPEN

ONCCでは、昨年10月20日に念願の豊中事務所の開所式を関西アーバン銀行にて催しました。

浅利豊中市長、健康福祉部の直川部長、山本次長、貴志課長、地域コミュニティ施策山本室長、社協の永井会長、松井常務、森事務長、勝部次長、大阪教育大学関教授、豊中同窓会の廣川顧問、猪谷会長、島崎副会長、坂口副会長、井上副会長、の皆さまと、当ONCCの各理事の出席のもと実施しました。

豊中地域では、①SA地域福祉を学ぶ科、②音楽を楽しく学ぶ科、③自然とものづくりを愉しむ科、④歴史のロマンと謎に迫る科、⑤健康づくりと福祉を学ぶ科の5学科が豊中市内の各教室で開講されます。市民のカレッジ・生涯学習の場としての地域密着型カレッジとして、また地域へ戻って活動可能な拠点として皆様のご利用を期待しています。

豊中事務所：豊中市岡上の町4丁目5-27 オルビスハイム103号 TEL:06-6151-4461

